

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公開番号】特開2006-305164(P2006-305164A)

【公開日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2006-044

【出願番号】特願2005-132969(P2005-132969)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月2日(2008.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示部上に複数種の絵柄が所定の順序で配列された複数の絵柄列をそれぞれ並行するように配置し、該各絵柄列の絵柄を循環するように配列方向にスクロール表示させる絵柄表示装置と、

前記複数の絵柄の変動開始条件成立を判断する変動開始判断手段と、

前記変動開始判断手段による変動開始条件成立を示す判断結果に基づいて、遊技者に有利な特別遊技状態を発生させるか否かの抽選を行う抽選手段と、

前記変動開始判断手段による変動開始条件成立を示す判断結果に基づいて前記複数の絵柄の変動表示を開始させると共に、前記抽選手段の抽選結果が当選である場合には前記複数の絵柄を特定絵柄の組合せで停止するよう前記絵柄表示装置を表示制御する表示制御手段と

を備え、

前記変動表示を終了させる前段階として、前記表示部内の予め設定された複数の有効ラインのうちの1の有効ライン上に前記特定絵柄の組合せが成立する可能性のあるリーチ絵柄の組合せを停止表示されることによりリーチラインを形成させ、該リーチラインが形成されている状況下において最終停止絵柄列によりリーチ変動を行い得る構成とした遊技機において、

前記複数の有効ラインとして、少なくとも前記複数の絵柄列の変動方向と垂直に交わる第1有効ラインと、該第1有効ラインに対して傾斜した第2有効ラインとを設定し、

さらに、前記最終停止絵柄列が通過する位置で、前記第1有効ラインと前記第2有効ラインとが交わらないよう該第1有効ラインを設定し、

前記表示制御手段は、

前記第1有効ライン上に前記リーチ絵柄の組合せが停止表示されてリーチラインが形成されると、該リーチラインを形成する前記絵柄列の中で前記リーチ絵柄以外の絵柄を少なくとも前記最終停止絵柄列の変動が停止表示されるまで視認不能とするよう前記絵柄表示装置を制御する視認不能化手段と、

前記視認不能化手段によるリーチ絵柄以外の視認不能化に伴って、前記リーチ絵柄を前記第2有効ライン上に移動させて前記リーチラインを変更するよう前記絵柄表示装置を制御するリーチライン変更手段と、

前記抽選手段の抽選結果が非当選であり、前記視認不能化手段及び前記リーチライン変更手段によってリーチラインが形成され得る場合に、前記最終停止絵柄列の最終停止絵柄を決定し、該最終停止絵柄を表示するよう前記絵柄表示装置を制御する最終停止絵柄表示手段と、

前記最終停止絵柄表示手段によって最終停止絵柄が停止表示された場合に、少なくとも前記リーチライン変更手段によって移動された前記リーチ絵柄を前記第1有効ライン上に戻して表示するよう前記絵柄表示装置を制御する絵柄戻し表示手段とを備え、

前記最終停止絵柄表示手段は、前記リーチ絵柄とで前記特定絵柄の組合せになり得ない前記最終停止絵柄列の絵柄を前記第1有効ライン上に停止表示させるべく最終停止絵柄を設定する最終停止絵柄設定手段を備えたことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記絵柄戻し表示手段は、前記第2有効ライン上に停止表示されている前記最終停止絵柄の絵柄を前記第1有効ライン上に戻し表示することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記絵柄戻し表示手段によって、絵柄の戻し表示がされる段階、或いは絵柄が戻し表示されている最中に、前記変動開始判断手段により次の遊技回の変動開始条件が成立した場合には、前記絵柄戻し表示手段による絵柄の戻し表示を中止し、次の遊技回の変動表示を開始することを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記絵柄の変動の最中に、前記変動開始判断手段によって次の遊技回の変動開始条件成立を示す判断結果が取得され、その判断結果による変動表示を一旦留保する留保手段と、

前記絵柄列の変動開始時における前記留保手段による留保の有無を判別する変動開始時判別手段とを備え、

前記表示制御手段は、前記変動開始時判別手段による留保有無の判別結果に応じて前記絵柄戻し表示手段の絵柄戻し表示を許可するか否かを決定する絵柄戻し表示決定手段とを備え、

前記変動開始時判別手段によって留保が存在すると判別されると、前記絵柄戻し表示決定手段は前記絵柄戻し表示手段による絵柄戻し表示を非許可とし、さらに前記表示制御手段は前記最終停止絵柄表示手段による最終停止絵柄の停止表示後に次の遊技回の変動表示を開始させるべく前記絵柄表示装置を制御することを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項5】

前記最終停止絵柄表示手段は、リーチラインが形成されている第2有効ライン上で特定絵柄の組合せとなり得ない絵柄を前記最終停止絵柄として設定する外れ絵柄設定手段と、

前記最終停止絵柄設定手段と前記外れ絵柄設定手段とを選択する最終停止絵柄設定選択手段とを備え、

前記最終停止絵柄設定選択手段は、少なくとも前記変動開始時判別手段によって留保が存在しないと判別された場合に、前記最終停止絵柄設定手段を選択することを特徴とする請求項4に記載の遊技機。

【請求項6】

前記最終停止絵柄設定選択手段は、前記変動開始時判別手段によって留保が存在すると判別された場合に、前記外れ絵柄設定手段を選択することを特徴とする請求項5に記載の遊技機。

【請求項7】

前記最終停止絵柄表示手段による前記最終停止絵柄の停止表示時における留保の有無を

判別する停止表示時判別手段を備え、

前記変動開始時判別手段によって留保が存在しないと判別された後、前記停止表示時判別手段によって留保が存在すると判別された場合には、前記絵柄戻し表示決定手段は、前記絵柄戻し表示手段による絵柄戻し表示を非許可とし、さらに前記表示制御手段は前記最終停止絵柄表示手段による最終停止絵柄の停止表示後に次の遊技回の変動表示を開始させるべく前記絵柄表示装置を制御することを特徴とする請求項4乃至6のいずれか1項に記載の遊技機。

【請求項8】

前記絵柄戻し表示手段は、前記視認不能化手段によって視認不能とされた絵柄を再表示する絵柄再表示機能を備え、該絵柄戻し表示手段は、絵柄の戻し表示を行う場合に絵柄の再表示を行うことを特徴とする請求項1乃至7のいずれか1項に記載の遊技機。

【請求項9】

前記リーチ絵柄以外の絵柄の視認不能化及びリーチラインの変更は、前記第1有効ライン上にリーチラインが形成されてから所定時間の経過後に行われることを特徴とする請求項1乃至8のいずれか1項に記載の遊技機。

【請求項10】

前記表示部を矩形状に形成し、
前記第1有効ラインを複数設定すると共に、前記表示部の一辺に沿うように設定し、
さらに、前記第2有効ラインを前記表示部の対角線方向に設定し、
前記最終停止絵柄列を、前記複数の絵柄列のうちその中央の絵柄列に設定したことを特徴とする請求項1乃至9のいずれか1項に記載の遊技機。

【請求項11】

前記表示制御手段は、前記複数の有効ラインのうち1の有効ライン上に停止表示させる各絵柄列の絵柄を決定した上で、その決定絵柄と絵柄列の所定順序の配列とからその他の有効ライン上に停止表示させる絵柄を決定することを特徴とする請求項1乃至10のいずれか1項に記載の遊技機。